

しまくとぅばプロジェクト2018

「しまくとぅばライティング」

第2回

日 時：2019年2月24日(日) 14:00~16:00 (開場 13:30)

会 場：沖縄県立博物館・美術館 **美術館 講座室** (1階)

参加方法：**当日先着** (定員 50名、申込不要) 参加費：**400円**

講 師：**西岡 敏**氏 (沖縄国際大学)

「しまくとぅば」は、かつては日常生活において使われていました。それらは、まず「話しことば」としてありました。「しまくとぅば」を話し、それを聞き取って理解する、その繰り返しによって日々の暮らしが営まれました。「しまくとぅば」は発せられ、聴取されては消え、そこに「書くこと＝ライティング」はあまり介在しませんでした。

確かに、「おもろ」、「琉歌」、「組踊」、各地の「民謡」など、「書くこと＝ライティング」がなされた「しまくとぅば」もあります。また、「しまくとぅば」の研究者を中心に、「しまくとぅば」を記述（記録）する、すなわち、「書くこと」の取り組みもこれまで行われました。しかし、多くの人々が「しまくとぅば」を「書くこと＝ライティング」の経験をしないまま、今日を迎えていることもまた事実です。「しまくとぅばプロジェクト2018」では、昨年度に引き続き、ワークショップ「しまくとぅばライティング」を開催し、「しまくとぅば」を実際に「書く」ことを一緒に考えてみたいと思います。たとえば、ラジオで放送されている「方言ニュース」などを題材にしながら、その記述（記録）に実際に取り組み、テキスト作成や辞書作りなど「しまくとぅば」を「書くこと＝ライティング」の実践活動につなげていければと考えています。